

住まい学エッセンス

平凡社

バスケットリーの定式

かごのかたち自由自在

関島寿子

新刊のご案内

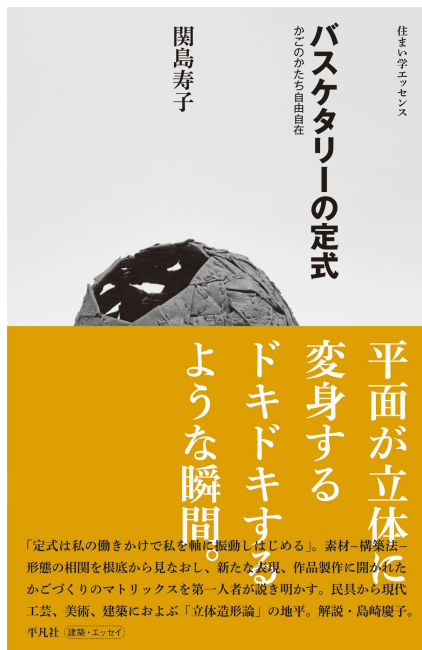


新たな表現に開かれた、かごづくりのマトリックスを第一人者が説き明かす。民具から現代工芸、美術、建築におよぶ立体造形論の名著が、新シリーズ〈住まい学エッセンス〉の第1弾として平凡社から再刊！

右のQRコードか以下URLより出版社ホームページで詳細を確認できます！

<https://www.heibonsha.co.jp/book/b645136.html>





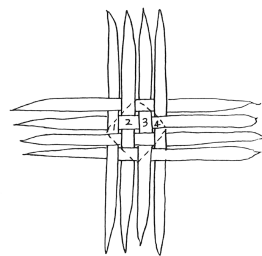
バスケットリーの定式 かごのかたち自由自在 (住まい学エッセンス)

著者・関島寿子 新版解説・島崎慶子
平凡社

2024年7月24日刊行

ISBN 9784582543636

B6変 240ページ (カラー口絵16ページ)

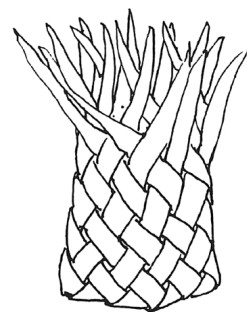


現代工芸、美術、建築など「立体造形」に携わるすべての人に読んでほしい必読書『バスケットリーの定式』（関島寿子）が2024年夏、平凡社新シリーズ〈住まい学エッセンス〉の一冊として再刊されました。新版解説として菊池寛実記念 智美術館主任学芸員の島崎慶子さんの解説が付されます。全国の書店、オンラインブックストアで好評発売中！ 電子書籍版もあります。

“この本全体に考えることの楽しさがあり、独学の指南書のようにもある。あるいは自分を立てるとはどのようなことなのか、創造力や知性とは何かといった人生にまつわる話がかごの制作にちりばめられた哲学書とも受けとれる。この『バスケットリーの定式』を通して得るものは読者ごとに異なるであろう。そして名著は読むたびに新たな発見をくれる。”
(島崎慶子さん執筆、本書解説より引用)

目次

- I バスケット・コネクション
「バスケット・コネクション」万歳／新聞紙の「たて・よこ関係」
かごと織物の出会い／工芸再発見／「なんでもできると何もできない」
- II バスケットリーの定式
かごの構造力学／創作と定式／分類表の読み方／かごと鳥の巣
- III 自然な関係
自然な関係／マテリアルとメディアム／紙紐作戦
- IV 定式の自由
基本の見なおし／型にはまらない型の話／道具と身体／網杓子の使い方
民具と創作／ノートブック
- V かたちの自由
かたちの記憶／容器のかたち／かたち自由自〈材〉／かたちと大きさ／ふたたび定式の自由
- VI 日常と創造
あなたはアーティストですか
グロサリー／参考文献
「同じかごの中」あとがきにかえて／改訂版あとがき／新版あとがき
解説 原理を編む 島崎慶子



著者略歴

関島寿子（せきじま・ひさこ） かご製作者、多摩美術大学美術学部生産デザイン学科客員教授。1966年、津田塾大学英文科卒業。1975-79年、ニューヨークに在住中アメリカ先住民の技法を学ぶとともに、現代的アプローチをエド・ロスバックやジョン・マックウィーンから学ぶ。ヴィクトリア&アルバート博物館「Japanese Studio Craft」（1995）、ジャパン・ソサエティ・ギャラリー「Fiber Futures: Japan's Textile Pioneers」（2011）、東京国立近代美術館工芸館「現代の座標——工芸をめぐる11の思考」（2012）、広島市現代美術館「交わるいと——「あいだ」をひらく術として」（2017-18）などに出品。著書『Basketry』（講談社インターナショナル1986）『自然を編む』（創和出版1988）ほか。